

# ゆう在宅クリニック

在宅医療・訪問診療・緩和ケア TEL.045-351-0063

いつでもあなたに寄り添う

Always  
by  
your side



医療法人社団 陽友会  
アニュアルレポート2022  
2022.01 ▶ 2022.12



医療法人社団陽友会  
ゆう在宅クリニック



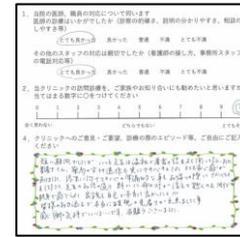
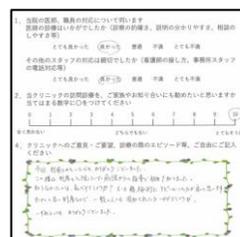
医療法人 陽友会  
ゆう在宅クリニック  
理事長 田村 陽一

新年明けましておめでとうございます。今年で当院も開院から15年が経ちました。開院当時はまだ、在宅医療が今ほど浸透しておらず、訪問看護ステーションの看護師さんやケアマネジャーさん達といろいろと意見を出し合いながら、正解のない解決策を一生懸命考えていたことが思い出されます。当然経験もありませんので、とにかくフットワークの良さをモットーに、何かあればすぐに駆け付けけるというスタイルでやって参りました。そして、実際に患者さんを診察して、ご家族とも直接関わることで、多くのことを患者さんから学ばせていただいたと思います。もちろんすべてが上手くいったわけもなく、ご迷惑をおかけしたことも多々あったと思います。それでも患者さんに寄り添って、患者さんを中心に、関わる人みんなで最善の方法を考えていくことは在宅医療の醍醐味であり、これまでの経験は今のわたくしの財産になっていると思います。

徐々に医師数も患者数も増え、規模も大きくなって参りましたが、これも地域の病院、訪問看護ステーション、居宅介護事業所の皆様の協力のたまものであり、この場を借りて御礼申し上げます。

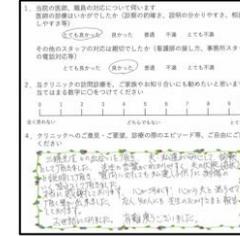
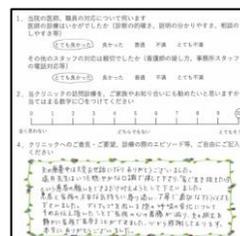
今後は今まで以上に、地域の在宅医療に貢献して参りたいと思いますが、開院当初のようにフットワーク軽く、常に患者さんに寄り添って、関係者みんなと一緒に悩んでいくスタイルは忘れないようにしたいと思っております。そして職種による垣根のない地域をつくっていければ、今まで以上に良い地域になっていくと思っています。今後も皆様方のご協力、そしてご鞭撻のほどお願い申し上げます。

## 患者様・ご家族のお声



今回、利用させていただき、ありがとうございます。この様な制度を入院していた病院からの指導で初めて知りました。知らなかったのは私だけでしょうか？もっと積極的にアピールした方が良いと思います。せっかくの良い制度なので、一般の人にも周知されたいかがでしょうか。いずれにしても、ありがとうございました。

短い期間でしたが、いつも先生は温和で患者の話をよく聞いて下さいました。看護師さん、薬局の方との連携も実にテキパキとされとても安心感がありました。終末に向けての心の準備的な事もお帰りの際にアドバイスを下さり、先生のお話の通り静かに命の灯が消えて逝くのを側で肌身で感じられ家族も自宅で本当に良かったと!!皆様のお力添えて本当に理想の看取りが出来ました事、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

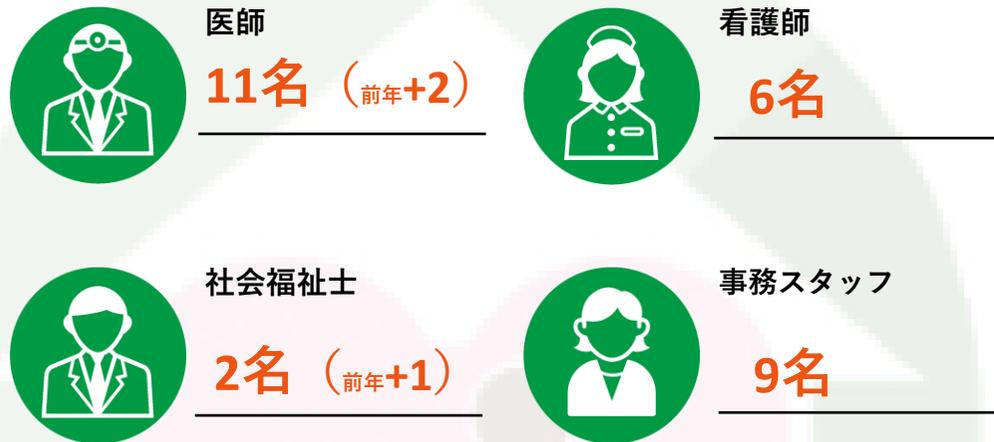


夫の療養中は大変お世話になりました。先生はいつも穏やかな口調で接して下さい、「家で生き抜きたい」という患者の願いをできるだけ叶えようとして下さいました。患者と家族の不安な気持ちに寄り添い、丁寧で適切なアドバイスを下さいました。ダイアブを用いる際の呼吸の変化について予めお伝え頂いたことで家族の心の葛藤が減り、夫の旅立を静かに家族で見守ることができました。心から感謝しております。本当にありがとうございました。

先生との出会いを頂き、夫・私達が安心して診察をして頂きました。先生の言葉が分かりやすく、夫の状態(症状)を説明して頂き、質問に対しても私達(子供)に納得のいく答えをして頂きました。本当に感謝しております。心が汚れず、心から夫を送らせて頂くことが出来ました。友人・知人にも先生のおかげさまを報告しております。お世話になりました。有難うございました。

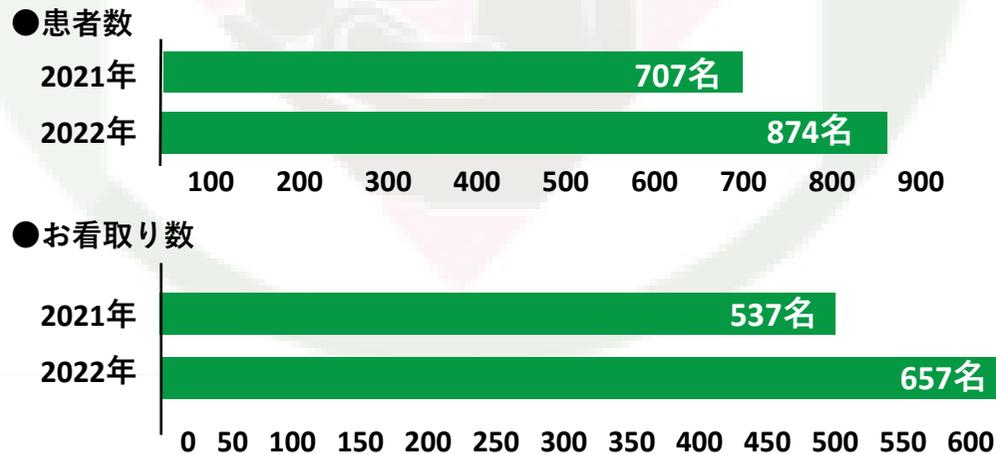


## 診療チーム



## 患者数

### 患者数とお看取り数の推移



## 地域連携

### ●ともに患者様を支えた連携事業所数

居宅介護支援事業所...**210**事業所

地域包括支援センター...**31**事業所

薬局...**79**事業所

高齢者施設...**41**事業所

訪問看護ステーション...**142**事業所

診療所...**12**事業所

### ●新規患者の紹介元内訳

居宅介護支援事業所...**90**事業所

訪問看護ステーション...**13**事業所

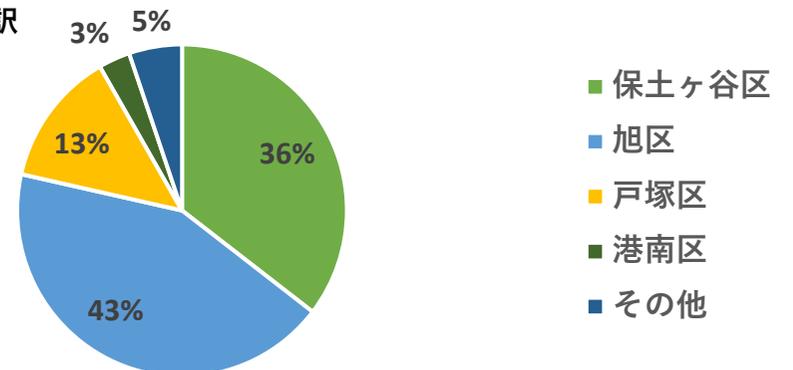
病院...**55**事業所

高齢者施設...**13**事業所

地域包括支援センター...**22**事業所

医師会...**3**事業所

### ●訪問エリアの内訳



## 夜間休日の不安を減らす

医師は常に連絡がつながる携帯電話を持っており、いつでも連絡がいただけます。夜間や休日でも対応可能となっておりますので、ご不安なことはいつでもお気軽にご相談ください。24時間365日スピーディに対応し、ご自宅での療養生活にご不安な方でも、医師が常に寄り添います。

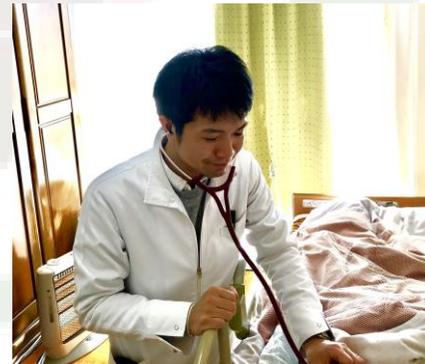
### 2022年の往診実績

<日中往診>

**2,386**件

<夜間・休日往診>

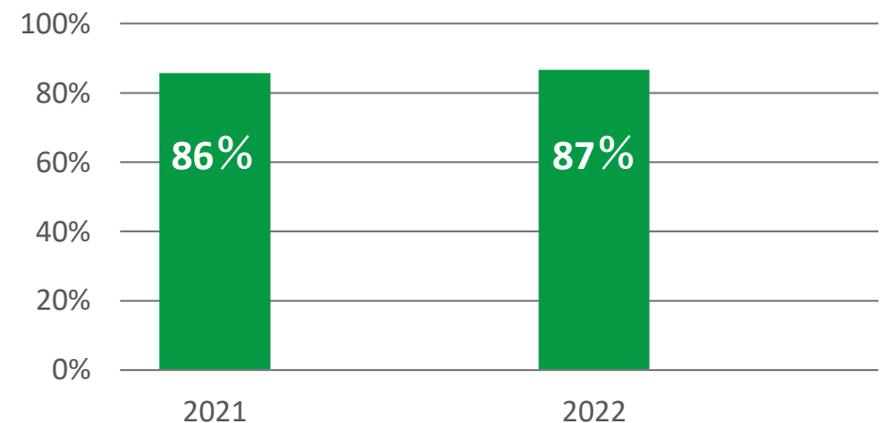
**1,121**件



## 緩和ケア（終末期患者の在宅看取り率）

2022年に当院で診察した終末期の患者様(※) 657名のうち、73.5%の方がご自宅でご逝去されました。小規模多機能やホスピス等施設でのお看取りを含めると86.6%に上ります。病院では面会も制限が多く、「最期まで自宅で過ごしたい・見てあげたい」という患者様やご家族のお気持ちに応え、不安に寄り添いながら、終末期を苦痛なく・ご自分らしく過ごすお手伝いをしていきます。(※)特養を除く

終末期患者の当院看取り率





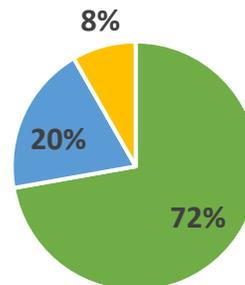
## 自ら選択した人生を、尊厳をもって 生き切れるように

残存機能を利用しながら、自身で選択した生活・人生が、自分の想いに近い形で最期まで継続できること。このことは在宅医療の原則であり、目的でもあります。多くの自宅で療養されている方々は治らない病域や障害と共に、人生の最終段階を過ごしております。医療従事者目線の模範解答を押し付けるのではなく、本人・家族が現在の状態を受け入れているのか、本当のニーズは何なのか、しっかり把握しなければなりません。1番大事なことはご本人の想いです。当然、残されるご家族の気持ちも大切です。それ以外の関わる方々も、それぞれの支援に対する考え方があります。どうすれば皆が納得できるのか。いつも優先順位を意識する必要があります。

自分の都合、自分のリスク回避を優先しているか？患者さんとご家族の想いを実現できるようにしなければなりません。後悔をしないような選択をするために、本人・ご家族の気持ちに寄り添いながら、専門職としてだけでなく、時に1人の人間として共に考える姿勢が大切だと考えます。そして、不安定な状態でも安心の療養生活が継続できるように、確実な24時間対応をお約束するとともに、経過の共有と、予測可能な事態への準備をしておくことも大切です。全ての患者さん・ご家族の納得できる人生・安心できる生活をサポートするために、私たちは一人ひとりの患者さんに真剣に向き合い、自らの能力や取り組みを客観的に評価し、医療専門職として、そして人として成長するための努力を継続していきたいと思っております。

### ●総合満足度 (NPSスコア)

- 9~10(推奨者)
- 7~8 (中立者)
- 1~6 (批判者)



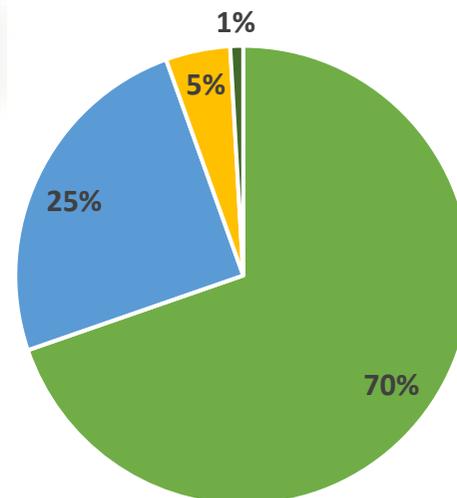
推奨者 - 批判者 = NPS

※NPSとは「Net Promoter Score (ネット・プロモーター・スコア)」の略でこれまで計測することが難しかった顧客ロイヤルティを数値化する指標となっております。

72% (推奨者) - 8% (批判者) = 66% (NPS)

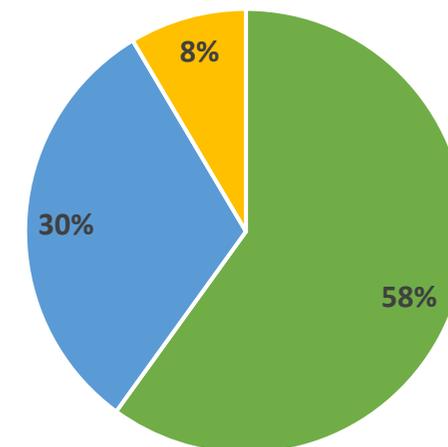
### ●その他アンケート結果

1 | 当院の医師の診察に関する満足度はいかがでしょうか？



- とても良かった
- 良かった
- 普通
- 不満

2 | 当院のスタッフの対応に関する満足度はいかがでしょうか？



- とても良かった
- 良かった
- 普通

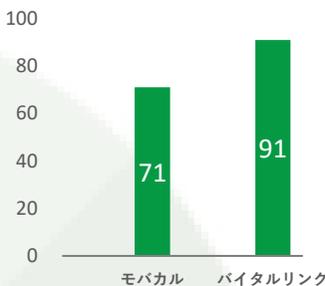
# 昨年の取り組み



## ICTを利用した連携の推進

当院で使用する電子カルテ「モバカルネット」やチャットツール「バイタルリンク」について相談員による無料導入サポートを行い、多くの事業所様に導入いただきました。オンラインでの情報交換を推進し、より密に患者さんの情報を共有することで連携を取りやすくなりました。

2022年度導入事業所数



## 在宅医療連携室の開設

「在宅医療に関して気軽に相談できる窓口があると便利！」という皆様のお声にお応えして、在宅医療相談室を設置いたしました。患者様のご紹介や当院の訪問診療についての様々なお問合せ、ご利用中の患者様についてのご相談など、相談員が対応いたします。お気軽にご利用ください！



## 看取り患者様ご家族からお声

私たちは、日々の業務の中で楽しい事やうれしい事だけでなく、辛く悲しい時やしんどいと思ってしまうことも幾度となくあります。そんな中ご利用者様やご家族様からあたたかい言葉をいただくと、「やって良かった」「この仕事を選んで良かった」と、心から励みとなります。私たちはこの仕事をさせていただいている事に日々感謝の気持ちを忘れず、これからもたくさんの笑顔をもたらせるような仕事をしたいと思っています。



## オンライン勉強会の開催

昨年も計3回の勉強会を開催させていただきました。毎回100名以上の在宅医療に関わる職種の方々に参加いただきまして、誠にありがとうございます。今年も引き続き、在宅医療に関わる方々に向けた勉強会を定期的に開催していきたいと思っております。いずれは時期を見て、お集まりいただきお互いに顔の見える形で開催することもできればと考えています。



また、今まで開催させていただいたオンライン勉強会は当院公式LINEメニュー「ゆう在宅クリニック資料室」にて資料・講座動画を公開しております。その他にも、ゆう在宅クリニックの在宅医療に関わるパンフレットやニュースレターなどの資料を多数掲載させていただいておりますので、お気軽にご活用ください。



## 在宅医療報告レポート

昨年からの試みとして「在宅医療移行報告書」「患者様お看取り報告書」を作成し、紹介元病院担当者様にお送りしています。訪問診療の利用を開始された患者様のご様子を報告し、連携先の皆様が在宅での療養生活をイメージする一助になるよう、内容や運用をブラッシュアップしていきたいと考えています。



今後も皆様と密に連携を取り合い協力しながら、患者様をサポートし、地域の皆様から信頼をいただけるクリニックにしたいと考えております。今後ともよろしくお願いたします。

### 神奈川区三ツ沢南町に分院開院決定

2023年夏頃、神奈川区三ツ沢南町に新たな分院を開院することが決定しました！  
詳細は、今後別途ご案内いたします。



横浜市立市民病院

2023年夏頃  
OPEN予定

### 訪問可能エリアの拡大

新分院開院に先立ち、これまで一部地域への訪問にとどまっていた神奈川区・西区全域への訪問を2022年2月より開始しております。  
これらの地域で訪問診療をご検討の方、ぜひご相談ください。

また、その他の地域においてもますます皆様のお力になれますよう、訪問エリアについての検討を重ねてまいります。

### 多数の常勤医師が在籍・専門医を積極採用

24時間365日いつでも医師につながる体制を維持し、いつでもスピーディな対応を行い患者さんやご家族が安心して療養生活を送れるよう、ゆう在宅クリニックには多数の常勤医師が在籍し、チームで訪問診療を行っております。日頃は主治医が責任をもって患者さんの療養生活を診ておりますが、緊急時にどの医師が対応しても同じような対応ができることを目指し、いつでもどこでもカルテを見ることができるシステムを整え、定期的に医師カンファレンスを開催して理念と情報を共有しています。  
どの医師が対応しても充実した診療や丁寧なご説明を提供できるのはもちろんのこと、幅広い疾患に対応すべく、多彩な専門医が在籍し協働しております。今後も様々な専門医の採用を積極的に行っていく予定です。

#### 当院に所属する専門医（2022年12月現在・非常勤医師を含む）

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| 日本在宅医療連合学会認定専門医 | 日本緩和医療学会専門医   |
| 日本内科学会総合内科学会専門医 | 日本泌尿器科学会専門医   |
| 日本循環器学会認定循環器専門医 | 日本血液学会認定血液専門医 |
| 日本外科学会外科専門医     | 日本麻酔学会認定専門医   |
| 日本救急学会救急科専門医    | 日本整形外科学会専門医   |
| 日本精神神経学会専門医（予定） |               |



医療法人社団 陽友会  
**ゆう在宅クリニック**  
在宅医療・訪問診療・緩和ケア TEL.045-351-0063



医療法人社団陽友会

**ゆう在宅クリニック**

神奈川県横浜市保土ヶ谷区今井町827-3

**本院**

神奈川県横浜市旭区二俣川1-67-4 YAMAKI二俣川ビル1階

**旭分院**

**【お問い合わせ】**

在宅医療連携室☎：045-489-5554（ご相談・ご依頼はこちら）

本院☎：045-351-0063

旭分院☎：045-489-9001